



松本市にある松本森林事務所管内の、松本城と美ヶ原高原を紹介します。

### ◆松本城

文禄（一五九三〜四年）時代に建てられた五重六階の天守を中心に、四百年の風雪に耐え、戦国時代の優れた築城技術

ご当地  
自慢

松本城と美ヶ原高原を

55

松本森林事務所



を今に伝えていきます。建造された天守は国宝に指定され、城跡は国の史跡に指定されています。

松本城と呼ばれる前は深志城ふかしじょうと言っていたが、市民から別名烏城からすじょうとも呼ばれています。

天守閣では、戦国時代の主力武器であった鉄砲戦への様々な備えを見ることが出来ます。厚い壁には矢狭間・鉄砲狭間があわせて二十五カ所あり、天守閣などの一階には石落としが設けられています。石落としは石垣を登ってくる敵を防ぐ工夫で、狭間と同じように鉄砲を使つ



ての攻撃も可能な武備でした。

天守一階ではたくさんの柱があり、建材はツガ、檜、松などが使われています。

松本城からは日本アルプスが眺められ絶妙な調和を生み出しています。

また、四季を通じて各種イベントが開催されています。

### ◎アクセス

○長野自動車道 松本ICから車で約十五分

○JR篠ノ井線「松本駅」下車徒歩約十五分

### ◆美ヶ原高原

本州のほぼ中央に位置し、松本市の東に広がる標高二、〇〇〇級の雄大な高原です。北・南・中央アルプス、八ヶ岳、浅間山、富士山までもが見渡せる三六〇度の大パノラマは多くの人を魅了しています。四季折々の表情を見せ、レンゲツツジやヤナギランなど美しい花も見られます。

昨年から、美ヶ原高原直行バスが「松本駅アルプス口」から「美ヶ原自然保護センター」まで一日二往復運行を始めました。

